

# ★ まちづくり ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>

206号

2018年11月28日



常盤台の景観を守る会  
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

## — 都心低空飛行問題について —

国交省の態度は相変わらずで、「丁寧な説明」に徹しようとしているだけです。この「丁寧な説明」という言葉はくせ者で、説明はするが、根本的な見直しや撤回はしないよ、と言っているわけで、全く聞く耳を持たない人間が使う言葉です。ここには民主主義はおろか、人間の相手の言葉を聞いて認め合うという、動物とは違う優れた部分のひとかけらもありません。どうして教室型の説明会をしないのかも大いに疑問です。

そう言う中で、板橋区では都市建設委員会で、常盤台の景観を守る会が出していた国交省に意見書を出して下さい、という陳情が、自民党・公明党・民主クラブの反対で不採用になってしまいました。猛省を求めます。

## ○ 図書館跡地について

平和公園に中央図書館が移転することは決定したようですが、常盤台公園の跡地がどうなるかはまだ決まっていないはずです。

図書館長も新しくなりましたが、跡地問題についてその後の進展を知りたいので、説明会を要請しました。

公園が元に戻るのか、新しい建築物が建つのか、何ができるのか、私たちのまちの性格に関わる問題だと思えます。

## ○ 「200号記念合冊号」出版

2003年から2018年までに配布された「まちづくりニュース」合冊版を、10月に出版しました。

申し訳ありませんが、1部1000円でお分けします。原価は2000円かかっています。

ご希望の方は事務局にお電話ください。または「ギャラリー服部」の受付でも置いて下さっていますので、よろしくお願ひします。

## ○ ときわ台駅舎改修についての茶話会おこなわれる

11月21日(水)の夕方、「ギャラリー服部」で東武鉄道社員の小野さん・塚越さん、大野設計事務所の佐藤さんの三人に、ときわ台駅改修についてお話しを聞く茶話会を催しました。多忙な方々の日程や会場の都合が合わず、「まちづくりニュース」の谷間で決まったので、広くお知らせできなかった結果、参加者が限られてしまったのが残念です。

改修のコンセプトとして

- ① できるだけ創建当時の姿を再現
- ② 屋外展示「武蔵常盤小径」で常盤台住宅地の歴史・雰囲気発信
- ③ 新しい部分(エレベーター、トイレなど)の付加

をあげられていました。①については青いスペイン瓦の補充、軒先の破風部分の塗料分析などずいぶん苦労があったそうです。ペパーミントグリーンの軒先の色は当時も今も上品でおしゃれな感じです。

東上線の駅舎の中で一番美しい姿が復原され、新たに屋外展示という良質な部分も加わったことは、常盤台住民として大変嬉しいことです。この改修の完成を祝って、ささやかながら皆で乾杯しました。

懸念されていたいたずら書きなどもなく、常盤台住民の意識の高さを感じていると言われて少し誇らしい気持ちになりました。

その後11月24日(土)板橋区立資料館(下赤塚)で「東上線の昨日・今日・明日」という講演会があり、小野さんからときわ台駅舎改修について同様の内容でのお話しがありました。

「昨日」の部では花上さん(元東武博物館館長)の蘊蓄も聞くことが出来ました。

## 地域猫という考え方

長い人間間は地球の主人として、自分たちの邪魔になるもの、役に立たないものを排除してきました。その結果多くの種が絶滅し、思いもよらない環境破壊が起こったりしています。その反省から、命あるものを受け入れ共に生きようという動きができました。

野良猫も例外ではありません。法律や規則がすべての人の満足は得られなくても大半の人が納得できる形を目指すように、野良猫問題も猫好き・猫嫌い（アレルギーも）全員の満足は難しくても、できるだけ多くの人に受け入れられる解決方法を目指します。それが「地域猫」で、基本は二つです。

- ① 望まれない命は作らない、作らせない
- ② 生まれてきてしまった命は、できるだけ大切に见守る

まず①については、野良猫の捕獲・不妊手術（TNR）はもちろん、飼い猫も繁殖を予定しないのなら、手術をした上で室内飼いをすること、生涯責任を持って飼うことが大切です。

不妊手術をした野良猫への餌やりは、必ず容器に入れて時間を決めて与え、食べ終えたら片付けることがルールです。置きっぱなしや直接地面に置くのは大迷惑になります。

尾道や宮城県田代島では、たくさんの地域猫たちが多くの人を呼ぶ観光資源になっています。その反面奄美大島では、天然記念物の小動物を守るため野良猫（外飼いの飼い猫

も）の一斉駆除のニュースがありました。

野良猫とどう付き合っていくかは人間側の事情や考え方で違いますが、「こ常盤台でもできるだけ良い方法を編み出していきたいですね。」

十月中一丁目、二丁目で一〇匹ずつ捕獲・手術することができました。今月も並木道の野良猫のTNRを進めます。来年以降野良猫の数は徐々に減っていくはずですが、その反面、しばらく治まっていたネズミの増殖など新たな問題が起こらないか心配になります。 N・Y

## 猫もハクビシンも

Yさん達のおかげで、二丁目でもTNRの運動が広まっているようです。前号の「野良猫の数がハンパない」を読みFさんが連絡を下さいました。親子三匹で庭に来ているので、三匹とも捕まえて親は手術して放す、子猫はできたら飼いたい、捕獲・手術費用は持ちますという、TNRの精神そのものの人でした。

ハクビシンも増えているようです。果物が大好きな動物なので、イチジクやミカンなど、庭に成り物のある家はご注意ください。早めに収穫をとI・Yさんが呼びかけています。

## テレビ朝に常盤台登場

テレビ朝日の「じゅん散歩」十一月二十九日（木）朝九時五十分～一〇時二五分で常盤台が取りあげられるそうです。

この「まちづくりニュース」のお知らせが間に合うと良いのですが・・・

## 常盤台公園のはなづくり

十一月のある日、公園の花や木について質問したいという常盤台小学校の子ども達と公園を歩き回りました。

あらかじめ質問事項など用意されていたようでしたが、何しろ元気な三年生のこと、先生方の思うとおりには動きません。こちら側の説明も、打ち合わせをする時間がなかったせいか、バラバラになってしまったように思いました。子ども達はそれでも熱心にメモを取っていました。アオギリの不思議な形の実を、種のついでに数で競ったり、椎の木の実を拾ったり、ケヤキの幹からはがれた木片を眺めたりして楽しんでいました。

もうすぐケヤキや桜の紅葉がきれいになります。色々な落葉を拾い集める楽しみも知ってほしい、その為にも銀杏の木があった方が良かったと思いました。直近の公園改修の際、業者からたった一本の銀杏を残すかどうか尋ねられたとき、保存を強く主張しなかったことが悔やまれます。

公園のケヤキの梢を見上げると、茶色に枯れた葉っぱが木全体を覆っています。あれが全部、木枯らしで落葉となるわけですから、これからの落葉掃きの苦勞が思いやられます。毎月曜日、早朝の落葉掃き、老人会の皆さんご苦勞様です。お体に気を付けて、よろしくお願ひします。